

2018/02/11 の定期メンテナンスにおける Garoon API更新情報(2018/01/12)

2018年2月11日の定期メンテナンスの、Garoon APIの更新に関する情報をお知らせします。

お知らせの内容に追加、変更等ありましたら、こちらのコメントにて変更箇所を追記します。

また、APIドキュメントには仕様を順次公開していきます。

Garoon API共通

追加される機能

- ユーザーのロケールに中国語（繁体字）（zh-tw）が追加

Garoon JavaScript API

追加される機能

- [予定の値をセットする](#)
 - 機能内容:
現在開いてる予定のデータをセットします。

仕様変更

- **reduce関数の仕様変更**
詳細は以下の情報をご参照ください。
[【重要】2018/02/11の定期メンテナンスにおけるGaroonに関する仕様変更について（一部先行情報）](#)
- **スケジュールのeventオブジェクトで、ユーザー名を表示するプロパティの挙動を統一**
 - 対象API:
 - [スケジュールのフィールド形式](#)
 - 修正内容:
次のプロパティの出力する値について
creator.name
updater.name
facilityUsageRequests[].approvedBy.name

- 修正前：cybozu.comの「表示名」が出力されます。
- 修正後：他のユーザー名を表示するプロパティの挙動と同様に、ローカライズされ、個人設定の「ユーザー名の後に表示する情報」の設定が適用されます。

Garoon SOAP API

追加される機能

- APIバージョンが 1.10.0 から 1.11.0 に変更

仕様変更

- **ファイルアップロードの上限値の変更**
ガルーン全体でファイルのアップロード上限が300MBから1GBになります。
それにともない上記のAPIのアップロード上限が変更になります。